



観光施設

2026 若葉

No.355

日本の観光交流空間を創造する

第54回 国際ホテル・レストラン・ ショー出展報告

ホテル・旅館・観光施設
ライブラリー 2025



JAPAN TOURISM FACILITIES ASSOCIATION
公益社団法人 国際観光施設協会



ホテレス出展報告 2026 ホスピタリティのくに 日本を伝える

公益社団法人国際観光施設協会 会長 浅野 一行

今年も東京ビッグサイトにて、「ホスピタリティのくに日本を伝える」という総合テーマのもと、日本が歴史や文化と共に育んできた類まれな精神、ホスピタリティの発揮になぞらえた当協会の活動を、映像と実物展示で紹介しました。

今、観光業界が直面する社会課題に取り組むべく、従来の研究テーマに、観光DXなどの新しい研究テーマを加え、協会活動の幅はさらに広がりを見せています。

また、一昨年来、継続している能登の復興支援については、進行中の支援プロジェクトの報告に加え、能登の文化・工芸・産物と協会の技術が結集したホテル客室「Noto

Room」をご覧いただきました。

各委員会のテーマ展示も能登の復興支援もしかり、研究対象に入り込み、親身になって寄り添う。そのうえで、協会の専門的な知見を組み合わせることによって新しい価値を生む取組みに、「ホスピタリティの国日本を伝える」の本質を感じていただければ幸いです。

AIの活用によるDXの推進が、本展示会でも大きな注目を集める中、自動化や効率化が生む価値とは対極の、対象を敬い思いやるホスピタリティが生む価値を、同時に示すことができたのではないかと思います。後に続く報告をどうぞ楽しみにご覧ください。



会場・東京ビッグサイト



ホスピタリティデザインセミナー会場



センタープラザセミナー



能登復興支援コーナー

ホテレス 2026 を終えて

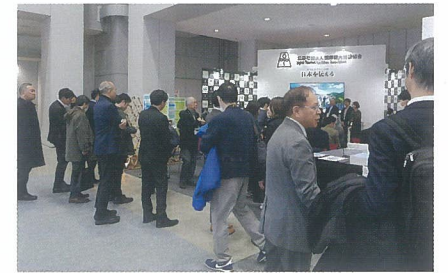
ホテレス実行委員会 委員長 末森 憲義

第54回となった今年のホテレス展は、東京ビッグサイトの改修工事のため、いつもの東展示棟から移って西展示棟での開催となりました。不慣れな会場だったため、四苦八苦のスタートでしたが、結果的には55,146名の来場者となり、昨年より1割増の大盛況な会となりました。

協会ブースでは、各分科会の1年間の研究成果をモニターで発表。昨年より継続している「能登被災地復興支援」に加え、これからの可能性を示す「観光DX」の展示にも力を入れました。たくさんの方が大画面に展示される発表に足を止め、会員企業のコラボレーションが生み出すシナジー効果に関心を示す様子が印象的でした。特別企画の「Noto Room」

は分科会の垣根を越えたメンバーの力を結集、一つの作品として力強い魅力を発信。会期中は村田観光庁長官も協会ブースの視察に来られ、内田インテリア分科会長自ら丁寧に説明頂きました。キーフィーチャーとして協力頂いたベネチ庵も大好評で、会期中に何度も来場者の方から問合せを受けました。

ホスピタリティデザインセミナーは高輝度の大きなモニターへアップグレードし、座席を横長にレイアウトして奥行きを浅くしました。これは大正解で、見やすく、聞きやすくなったと好評を頂きました。会場は協会ブースと隣接した配置とし、展示と一体的な運用ができたのも大きな収穫でした。初日の隈研吾さんのセミナーでは、講演の中で Noto



ブース入口のようす

Room について触れて頂き、講演終了後に溢れるほどの皆さんに協会ブースにお越し頂きました。そして、その中から能登の活動への支援に参加したいと言って頂く方があらわれた時、暖かいものが胸に込み上げるのを感じました。

2025年はたくさんのラグジュアリーホテルがオープンした年で、今年のホスピタリティデザインセミナーは非常に豪華なラインナップとなりました。多くのセミナーが満席となり、途中から席を追加するなど、嬉しい悲鳴を上げながら対応に追われ、盛況のうちに終幕となりました。

ホテレス 2026 へご協力頂いた皆様には、この場を借りて、お礼を申し上げます。

誠にありがとうございました。



Noto Room を訪れた隈研吾氏



能登半島被災地復興支援コーナー



アテ林业・能登ヒバを活かした能登創造的復興に向けて



センタープラザを緩やかに仕切るベネチ庵



ロボット展示のある観光DXブース



盛況なホスピタリティデザインセミナー

能登半島被災地復興支援

能登半島地震復興支援委員会 委員長 浅野 一行

昨年に引き続き、協会ブース内に能登復興支援のコーナーを設け、当協会の復興支援への様々な取り組みをご紹介します。

我々は、能登が復興後も能登らしい輝きを失わないことが、石川県が掲げる創造的復興に不可欠であると考えました。そこで、「能登の光」とも言える、能登独自の文化や地場産業を支えてきた地元の事業者や団体と、協会の会員会社を結び付け、その共創・協働により、伝統工芸や地場産業を活用した新たな製品開発やビジネス創出を行うプロジェクトを進めてきました。今年、進行中のプロジェクトのうち、主な8つをご紹介します。

今後は、共創の輪をさらに広げ、実装による実質的な支援に繋がれるよう、取り組んでいきたいと考えています。

同時に、当協会も能登ヒバサポーターとして取り組んでいる、「アテ林業・能登ヒバを活用した創造的復興支援」について、石川県木材産業振興協会及び能登森林組合と共同展示を行ないました。アテ林業の現状、能登ヒバの優れた特徴などをご紹介します。能登ヒバを使った製品の実物を多数展示し、能登ヒバの魅力を伝えました。

同じく共同で創作したホテル客室「Noto Room」は、能登の文化・工芸・産品と協会の技術・ノウハウが結集してできた復興への想いの賜物です。見て、触って、感じて、能登に想いを馳せていただきました。

また、復興支援関連セミナーとして、ホスピタリティデザインセミナー及びセンタープラザセミナー、合わせて6つのセミナーを開催しました。



進行中の主な8つのプロジェクト

- 能登仁行和紙の壁紙
〈能登仁行和紙 × リリカラ〉
- 能登上布のガラスパネル
〈山崎麻織物工房 × 中日ステンドアート〉
- 能登ヒバ木製ブラインド
〈フルタニランバー × ナニックジャパン〉
- 能登ヒバ製建具・ドア
〈フルタニランバー × 阿部興業〉
- のと古材レスキュー
〈のと復興ラボ × 丹青社〉
- 被災地におけるセミナー&簡易診断
〈まちづくり協議会 × エコ・小委員会〉
- 石川県・観光DXアプリの作成/連携
〈石川県 × LINKED CITY〉
- 珠洲市復興活動支援
〈金沢大学能登里山海防災・アグリ × 復興支援委員会〉



アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興



能登半島被災地復興支援コーナー

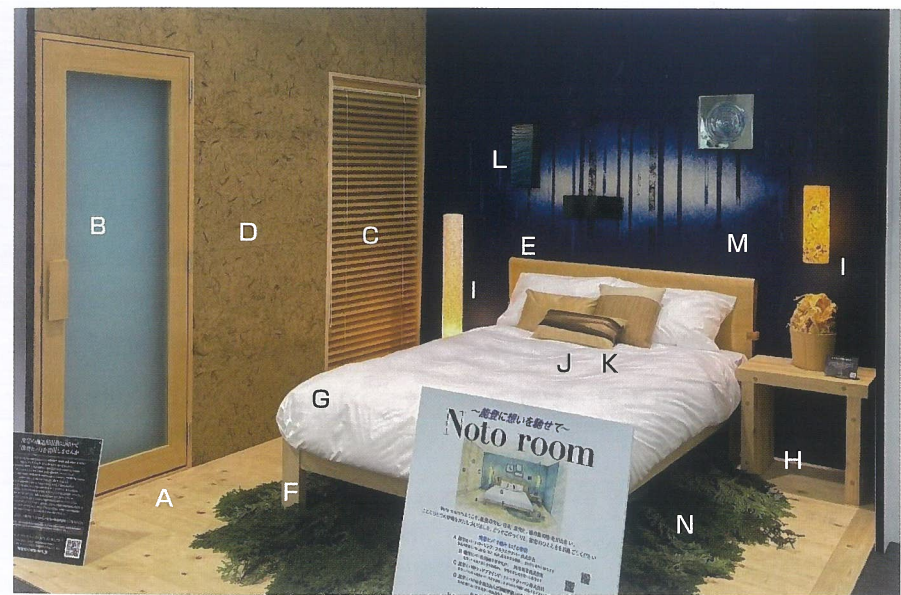
Noto Room 能登に想いを馳せて

能登半島地震復興支援委員会 委員長 浅野 一行
ホテル都市分科会 分科会長 野出木 貴夫
インテリア分科会 分科会長 内田 幸子

Noto Room へようこそ。能登の文化・技術・産物と、協会員の技術が出会い、ここにひとつの空間をかたちづくりしました。

Noto Room は、能登に想いを馳

せていただくように構成した体験型展示空間です。復興支援は、昨年のホテルショーで紹介したところたくさんの反響がありました。「木づかい/ホテル都市分科会」では能登ヒ



〈能登ヒバで組みあげる空間〉

- A 能登ヒバ・フローリング：
フルタニランバー株式会社
無垢の能登ヒバは、湿気に強く、抗菌、消臭効果も発揮し、その香りも魅力です
- B 能登ヒバ・浴室向けガラス戸：
阿部興業株式会社
能登ヒバの耐久性と香りを生かし、浴室を癒しの空間へと導きます
- C 能登ヒバ製ウッドブラインド：
ナニックジャパン株式会社
能登ヒバの持つ風合いや香りを生かし、あらゆる空間に適応します

- D 能登ヒバの皮を漉き込んだ和紙壁紙：
リリカラ株式会社
防炎性能と施工性を検証し壁紙化実現への道筋ができました

〈能登の上質な眠りとやすらぎ〉

- E ヘッドボードクッション：
株式会社谷口
能登ヒバの薫に微睡む時間 しなやかな「縫える木」(グラスコート防汚加工済)
- F ベッドフレーム：
株式会社ヒノキワークス
能登の無垢ヒバを贅沢に使った伸縮式ベッドで、睡眠の質が向上します

バの産地と交流が深まり、「デザイン温故知新/インテリア分科会」では工芸を建築デザインに取り入れる検討が始まりました。この価値を製品単体で紹介するのではなく、当協会らしくホテルの客室空間として体験できる形にしたいと考えました。Noto Room は、その共創の結晶です。

この活動をきっかけに、さらに多くの技術や素材が交わり、能登復興の一助につながっていくことを期待しています。

- G ベッドと寝具：
日本ベッド製造株式会社
能登ヒバの森、眠りの時間に敬意をこめて
- H 能登ヒバ DLT ナイトテーブル：
株式会社長谷満
能登ヒバ材を木ダボのみで接合したテーブルでカーボンストックに貢献します
- I 仁行和紙の光：大光電機株式会社
繊細な野草紙と和紙の個性を活かした光を灯しました
- J クッション：能登上布山崎麻織物
- K クッション(黒柿)：株式会社谷口

〈伝統と共につむぐ時間〉

- L 能登上布 × TEDTURE：
株式会社中日ステンドアート
繊細な能登上布とガラスの出会い

〈深淵なる能登の森〉

- M 壁画イメージアート：
株式会社エーアンドエム
能登に想いを馳せて
- N 能登ヒバ葉っぱとかななくず：
能登ヒバ森林組合・石川県木材産業振興協会 林業遺産・アテの森からの贈り物、心地よい香り

Noto Room 内の「能登ヒバ」の製品開発・展示の一部は、休眠預金等交付金「異業種連携による「アテ林業/能登ヒバ」を活かした創造的復興支援事業」(能登森林組合・(公社)石川県木材産業振興協会)の支援を受けて実施しています。

木づかい活動 2025

ホテル都市分科会 分科会長 野出木 貴夫

■木づかい活動 2025

当分科会の木づかいチームは合計11本の動画を用意して2025年度の活動報告を行いました。まずウッドデザイン賞の正会員入賞作品の報告では、同賞入賞34件に加え木材利用推進コンクールの入賞7件を併せて報告しました。続いて定例化した木づかい系セミナー1題と見学会3件の紹介をしました。セミナーは、日建設計の共創プラットフォームPYNTにて8月に開催された「建築・都市の木質化～Nikken Wood Lab」、見学会第1回は7月に開催した「第一生命京橋キノテラス」、第2回は10月に開催の「キャプション by Hyatt 兜町東京」、第3回は11月開催の「住友林業みどりの庭・筑波研究所」を報告し、最後に正会員6社より社業としての木づかい事例の動画を連続投影しました。



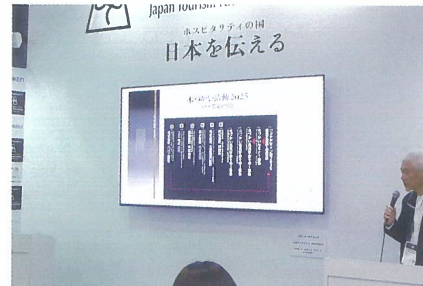
モニターによる動画展示

■メインレクチャー開催

2月18日にメインレクチャーを開催しました。11本の投影動画を連続的に写しながら各担当者によるリレープレゼンでしたが、要領よく行っていただき、目標の時間内で終えられたことに感謝いたします。また最後にホテル都市分科会も設営に協力した「Noto Room」の動画を皆様に見ていただきました。この動画はYouTubeに投稿済みであり協会HPでも閲覧いただけます。是非視聴いただき「～能登に想いを馳せて～」いただければ幸いです。



リレープレゼン登壇者の皆さま



メインレクチャー

■隈研吾氏来場

今回のホスピタリティデザインセミナーでは会期初日に「アテ林業・能登ヒバで拓く、能登の創造的復興」と題し more trees 代表として隈研吾氏に登壇いただき、石川県木材産業振興協会の古谷理事進行の元、能登森林組合の亀井組合長も加わり充実したセミナーとなりました。会場は満席で講演後、隈氏他多くの聴講者が「Noto Room」を訪れ、記憶に残る成果となりました。



Noto Room で取材を受ける隈研吾氏

ウッドデザイン賞2025
協会正会員入賞作品
木づかいセミナー報告

- 0:40 株式会社 乃村工務社
- 3:16 北三株式会社
- 3:45 鹿島建設株式会社
- 7:07 清水建設株式会社
- 9:53 株式会社 三菱地所設計
- 2:10 株式会社 梓設計
- 2:15 株式会社 三菱地所設計
- 2:51 株式会社 乃村工務社
- 0:42 株式会社 乃村工務社
- 1:50 株式会社 乃村工務社

動画投影メニュー

観光施設のフェーズフリー ～ホスピタリティで広がるフェーズフリー～

フェーズフリー委員会 委員長 石原 智也

突然おきる災害に対してそのためだけに特別な準備をするのではなく、ふだんから利用しているものが災害のときにも使えるように、日常時と非常時の垣根をなくす考え方がフェーズフリーです。国際観光施設協会では、これまでの取り組みをさらに発展させるためにフェーズフリー委員会を技術委員会の下部組織として設置しました。観光施設・観光交流空間のホスピタリティを向上することで観光客により高いサービスを提供するとともに、災害時にもそのままサービスを提供できることを目指しています。

フェーズフリー認証を取得している観光施設・観光交流空間をふたつご紹介いたします。徳島県鳴門市にある「道の駅 くるくるなると」は、基本計画の段階からフェーズフリーを取り入れて計画されました。周辺のエリアをつなぐ観光のハブとして地域内外から多くの観光客が訪れていますが、屋上には遊び場が用意されていて子供たちは駐車場から離れて安全に遊ぶことができます。地上からスロープであがる屋上は津波からの避難施設にもなっていてわかりやすく逃げ込めることができ、日常時・非常時とわずホスピタリティの高い施設となっています。(図-1)

東京都豊島区の「としまみどりの防災公園 (IKE・SUNPARK)」は、

地域の防災機能を備えた公園ですが、ふだんから様々なイベントが企画されて区内外からあらゆる世代が集まるホスピタリティの高い公園です。意識しなくても避難場所が記憶され、いざという時に逃げ込み、サービスを受けることができるのです。(図-2)

災害時にだけ役に立つ防災対策はコスト(費用)になりますが、ふだんも価値のあるフェーズフリーなものはバリュー(価値)といえます。矢野経済研究所がフェーズフリー市場に関する調査を行っており、その市場規模は前年度比1.25倍に拡大。(図-3)災害が絶えないこの国においてフェーズフリーが「防災の選択肢」ではなく「未来の生活文化」へとスケールアップしていくことを予測しています。

国の取り組みにおいても災害に強い国づくりをめざす「第1次国土強靱化実施中期計画」(内閣官房 R7.6.6)をはじめ、「社会資

本整備重点計画(第6次)」(R8.1.16閣議決定)、「PPP/PFI推進アクションプラン(令和7年改定版)」(R7.6.4)など広い範囲でフェーズフリーの概念が取り入れられてきています。

観光施設がフェーズフリーなものとなることで、災害発生時に貢献できることは大きいものがあります。委員会では、フェーズフリーな観光施設・観光交流空間の事例をつくり、また発掘してフェーズフリーについて理解を広め・深めていきたいと考えています。

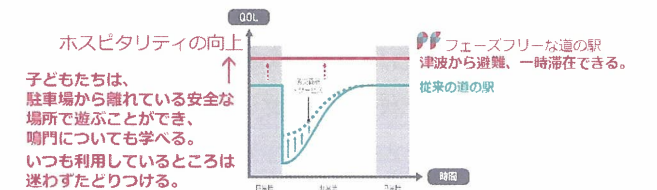


図-1 道の駅 くるくるなるとのホスピタリティ要素

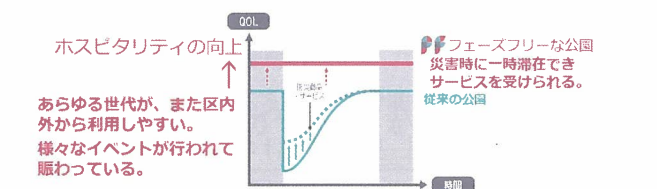


図-2 としまみどりの防災公園のホスピタリティ要素

矢野経済研究所 フェーズフリー市場に関する調査を実施(2025年)
2024年度の国内フェーズフリー商品小売市場規模は、前年度比125.4%と大きく伸長
～生活者や行政にフェーズフリーの考え方が浸透し、新たな消費行動が広がる～

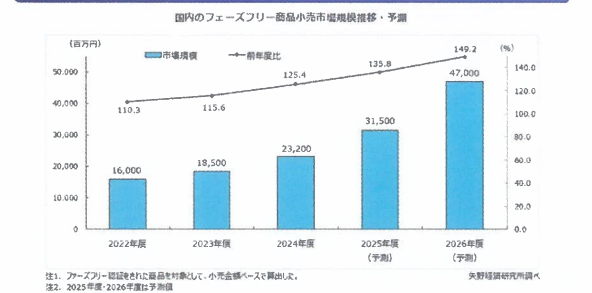


図-3 株式会社矢野経済研究所 HP より
https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3867

国際ホテル・レストラン・ショー
ホスピタリティデザインセミナー報告
ホテル・旅館の開発&デザイン 2026
—最新潮流と能登半島被災地復興支援—
 ホテレス実行委員会 委員長 末森 憲義

今年最新のホテル事例の紹介に加え、能登半島被災地復興支援、観光DXおよびエコ小のセミナーを開催しました。注目度の高いラグジュアリーホテルの講演も多数あったため、満席となるセミナーも複数ありました。ここまで内容の濃いホテル系の連続セミナーは大変に貴重で、会場にお越し頂いた方々の顔ぶれを見ても、業界のリーダー

はじめ経営層の方々、投資家や設計者、メーカーやベンダー関係者など様々で、現在のホテル開発に関する注目度の高さを肌で感じる事が出来ました。初日は復興支援で建築家の隈研吾さんが登壇、能登から駆けつけた亀井さんと古谷さんとの鼎談形式の講演で、会場全体のボルテージが一気に上がり、とても勢いのあるスタートとなりました。

各セミナーは、プロジェクト担当者の方々の自らの手による、オリジナルのプレゼンテーションです。純度の高い内容を直接講師の方からダイレクトに聴けるライブ会場は、雑誌やSNSでは味わえない、非常に濃密で魅力的な時間を共有する場となりました。

結果として盛況だった昨年を上回る、延べ1,500名以上の方に聴講頂き、大成功となりました。ご講演頂いた講師の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今回のセミナーの様子は、協会会員の皆様にも動画で視聴頂けるよう整備します。ご自身の学びの機会や、仕事の参考等に活用して頂けると幸いです。

①	②	③	④
			
日建設計 山本 祥寛様	下呂温泉観光協会 瀧 康洋様	建築家 隈 研吾様	能登森林組合 亀井 順一郎様
⑤	⑥	⑦	
			
日建設計 鈴木 豊一郎様	日建設計 橋口 幸平様	鹿島建設 佐々木 智之様	東京建物 小川 慎也様
⑧	⑨	⑩	⑪
			
三菱地所設計 新田 佳代様	宇都宮大学国際学部教授 高橋 若菜様	NTT 都市開発株式会社 星 伸寿様	三菱地所設計 小堤 卓様
⑫	⑬	⑭	⑮
			
入江三宅設計事務所 金丸 清志様	日建設計 加古藤 郁様	観光企画設計社 大谷 文男様	日建設計 足田 誠二様
			日建設計 向井 健様
			清水建設 清水 壮輔様

2月		開催時間	講演タイトル 登壇者 会社・所属/役職・氏名	開催時間	タイトル(施設名又はテーマ) 発表者
17日 火	10:15 ~ 11:05		メインレクチャー「LINKED CITYセッション」 株式会社朝日総合産業開発 本部長 成原哲也 旅館観光地分科会 副分科会長 光成和真		
	12:05 ~ 13:15		サロン 協力:株式会社フジマック	①	11:20 ~ 12:00 インターコンチネンタルホテル札幌 "Maison des saisons" -自然美と都市の洗練が織りなす四季の邸宅- 株式会社日建設計 設計監理部門スペースデザイングループ 設計部長 山本祥寛
	14:05 ~ 14:25		「観光DX連携セミナー」 公益社団法人石川観光連盟 観光地まちづくりマネージャー 飯田隆雄 旅館観光地分科会 副分科会長 光成和真	②	13:20 ~ 14:00 下呂温泉観光協会 生産性向上の取り組み -トヨタカイゼンの方式の下呂温泉導入事例- 一般社団法人下呂温泉観光協会 会長 瀧康洋
	15:15 ~ 15:35		「能登ヒバ」DLT(木ダボ接合積層材)を用いた家具の提案 株式会社日建設計 建築本部 建築設計部 隈研吾	③	14:30 ~ 15:10 「アテ林業・能登ヒバで拓く、能登の創造的復興」 -森とまちをつなぐ、新しい復興のカタチ- 隈研吾(建築家/東京大学特別教授・名誉教授/more trees 代表理事) 亀井順一郎(能登森林組合 代表理事/能登半島復興支援委員会 委員長)
16:25 ~ 16:45		「能登ヒバ」製品群による内装空間の木の質の提案 フルニシグループ株式会社 代表取締役 古谷隆明	④	15:40 ~ 16:20 「能登の復興の現在、未来に向けた取り組み」 一般社団法人能登官民連携復興センター 広域連携担当 杉本拓哉 一般社団法人リカーユーロコットンファクトリー代表、のひととカレッジ 学長 渡邊智恵子	
18日 水	10:15 ~ 11:05		メインレクチャー「木づかい活動2025」 ホテル都市分科会 会長 野出木真実		
	12:00 ~ 12:20		「能登半島被災地復興支援」 能登半島被災地復興支援委員会 委員長 渡野一行	⑤	11:20 ~ 12:00 エスパシオ ナゴヤキャッスル "アートミュージアムホテル" -ラグジュアリーのその先へ 掛け算のデザイン美学- 株式会社日建設計 設計グループデザイナー 橋口幸平 株式会社日建設計 スペースデザイングループ 設計部長 橋口幸平
	12:25 ~ 13:15		メインレクチャー「観光交流空間のまちづくり」 観光交流空間のまちづくり研究会 委員長 清水聡	⑥	13:20 ~ 14:00 「KX-Forest KARUIZAWA 鹿島 軽井沢の里保養所」 -鹿島の総合力で実現した新たな保養所- 鹿島建設株式会社 建築設計本部 建築設計統括グループ 佐々木智之
	15:15 ~ 15:35		デザイン温故知新 サスティナブルな建築と卓越した技法が響き合う和紙壁紙「KOZUJI(コウジ)」 株式会社トヨタ 営業 日本東洋	⑦	14:30 ~ 15:10 「ヒルトン京都」 京都SYNAPSE ~ゲストと京都の持つ様々な魅力を結びつけるホテル体験~ 東京建物株式会社 ホテル事業部 事業グループ 小川慎也/株式会社竹中工務店 設計部 足立裕己 橋本夕紀夫デザインスタジオ 副代表 橋本よしみ
16:25 ~ 16:45		「GREEN×EXPO 2027~37年ぶりのA1クラス国際園芸博覧会~」 GREEN×EXPO 協会 推進副委員長 田中裕俊	⑧	15:40 ~ 16:20 キャプション by HYATT 兜町 東京 -木造ハイブリッド構造の都市型ライフスタイルホテル- 株式会社三井地所設計 建築設計部 新田佳代	
19日 木	10:15 ~ 11:05		メインレクチャー「観光施設のフェーズフリー」 フェーズフリー委員会 委員長 石原智也		
	12:05 ~ 12:20		「ウェルビーイングとサステナビリティを両立した都心の中層木質オフィスビル-第一生命機軸(テラス)」 清水建設株式会社 設計本部 設計長 内藤純	⑨	11:20 ~ 12:00 ウェルビーイングな脱炭素社会へのトランジション 宇都宮大学国際学部教授 高橋若菜
	12:25 ~ 13:15		メインレクチャー 「コスト削減と脱炭素の切り札・ヒートポンプ給湯システム」 エコ小委員長 委員長 佐々山 東北文化学園大学 客員教授 赤井仁志 ゼネラルヒートポンプ工業株式会社 常務取締役 谷藤浩二	⑩	13:20 ~ 14:00 「パティナー大阪が示す、都市型ラグジュアリーホテルのデザイン」 -大阪城と難波宮の記憶を紡ぎ、都市の新たな価値を創出- NTT都市開発株式会社 取締役 ホテル&ホスピタリティ事業部長 星伸寿
	14:05 ~ 14:25		「脱炭素・循環型社会に向けて、欧州の厨房と食品残渣再資源化の最新情報」 NRTシステム株式会社 専任/MEIKO Clean Solutions Japan株式会社 尾崎剛	⑪	14:30 ~ 15:10 ローズウッド宮古島 -自然に調和したウルトララグジュアリーホテルを目指して- 株式会社三井地所設計 Global Design Office 建築設計部 小堤卓
15:15 ~ 15:35		「天然木活用の未来 ~国産材、デザインツキ板~」 北三株式会社 専任/三井物産 石井夕子	⑫	15:40 ~ 16:20 JW Marriott・ホテル東京 デザイナーが紡ぐ「Principles of Zen」を体感させる空間 株式会社日建設計 設計グループ 設計部長 加古藤郁 株式会社入江三宅設計事務所 計画/設計部 部長 金丸清志	
16:25 ~ 16:45		「World-Food Waste Tea House ベネチア、アラビヤ」 株式会社三井地所設計 設計部			
20日 金	10:15 ~ 11:05		メインレクチャー「ホテル・旅館の耐震改修」 耐震研究会 委員長 若佐謙志		
	12:00 ~ 12:20		「デザイン温故知新 足尾銅山記念館」 株式会社日建設計 坂田弘 内藤純	⑬	11:20 ~ 12:00 サンクチュアリコート日光 ジャパニーズモダンリゾート プロジェクト紹介 株式会社観光企画設計社 建築設計部 大谷文男
	12:25 ~ 13:15		メインレクチャー「デザイン温故知新」 インテリア分科会 会長 内田幸子	⑭	13:20 ~ 14:00 海外スーパーデザイナーと紡ぐ至高のホテル/ワールドーフ・アストリア大阪 -エグゼクティブ・アーキテクト+デザイナーの挑戦デザイン・コーディネーションを超えて- 株式会社日建設計 設計監理部門 設計グループ 設計部長 足田誠二 株式会社日建設計 設計監理部門 スペースデザイングループ 設計部長 向井健
	14:05 ~ 14:25		「インフラに頼らない、環境と快適を同時に支えるトイレ」 株式会社ローヤルエンvironment 持続可能な事業部長 下野昭博	⑮	14:30 ~ 15:10 フェアモント東京 東京と交感するレジデンシャル ラグジュアリー 清水建設株式会社設計本部 ホスピタリティデザイン/マネジメント部 設計長 清水壮輔
	15:15 ~ 15:35		「デザイン温故知新 和紙:TSUKURIKI日本のこころ」 リリカラ株式会社/協会 代表 渡野一行 他		